



報道関係者各位

2002年8月15日  
株式会社ネットマークス

## ネットマークス、ネットスクリーン社と契約を締結し 大幅な通信コストの削減が可能なインターネットVPNソリューションを拡販

ネットワーク・ソリューションプロバイダの株式会社ネットマークス(東京都港区元赤坂1-3-12 代表取締役社長 長尾多一郎)は、インターネット・インフラを活用することで企業における通信コストの大幅削減が可能なインターネット VPN ソリューションに注力し、SI ビジネス及び運用/監視、保守などのサービスビジネスを広く拡販していくと発表しました。これにあたり、米国ベンチャーのネットワーク機器メーカーであるネットスクリーン・テクノロジーズ(カリフォルニア州: Robert Thomas, President and CEO : 以下ネットスクリーン)社と同社セキュリティ製品の国内販売についての一次代理店契約を8月15日に締結しました。

ネットマークスでは、ネットスクリーン社製品を中心にしたインターネット VPN システムについてインテグレーション及び保守サービスを合わせ、今年度5億円の販売を予定しています。

xDSL や FTTH などの高速インターネット回線によるブロードバンドの急速な普及や、通信事業者同士の熾烈な競争による通信回線の低額化が進む中、企業内ネットワークにおいても広帯域でセキュアなネットワークが安価に構築可能なインターネット VPN に注目が集まっております。インターネット VPN は、xDSL、FTTH 等の広帯域で固定 IP アドレスを必要としないインターネットサービスを利用して、暗号化通信を行うことで安全性の高い通信を確保。IP-VPN や広域イーサネットサービスに比べて、小規模拠点との通信を安価に高速化する事が可能です。IP-VPN を利用した既存ネットワークをインターネット VPN へ移行した場合、小規模拠点数 50 箇所の標準的な企業で約 30%の通信コストの削減が可能で、通信速度も 10 倍程度向上します。

実際のインターネット VPN システム構築にあたっては、IPSec の暗号化など負荷のかかる処理やファイアウォールのポリシー処理、NAT 処理を高速に実行できるネットスクリーン社の NetScreen シリーズを中心に構成し、加えて早くからネットワークセキュリティに取組み、長年にわたるシステム構築実績により蓄積したネットマークスの技術により、信頼性の高い柔軟なネットワークの構築が可能です。

また、ネットマークスでは運用監視サービスをはじめとするセキュリティアウトソーシングサービス「SecurePlanet(セキュアプラネット)」の提供を2000年から行っております。これにより培ったノウハウを活かした、インターネット VPN 導入後に必要となる運用・管

理などの煩雑な作業からシステム管理者を解放する運用監視サービスや保守についても合わせて提供する予定です。

<システム特長>

- ・ 企業内ネットワークや関連会社、取引会社間、海外拠点をインターネットVPNやハイブリッドVPN ( IP-VPNとインターネットVPNを組み合わせたシステム ) で構築し、通信費を大幅に削減可能
- ・ バーチャルポリシー機能を活用した社内ファイアウォールとして活用し、社内のアクセスコントロールに関する管理・運用費用を削減可能
- ・ VPNマネージメントサービス ( 運用代行サービス ) で、弊社センターから一元管理・監視・運用を行い、運用管理に関わる人件費を削減可能

<ご提供製品ラインナップ>

NetScreen 5XP/5XT/25/50/204/208/500/5000シリーズと各種マネージメントソフトウェア

<サポート地域>

- ・ 日本国内を全国サポート
- ・ 日本法人の海外拠点での設置・サポートも可能 運用代行サービスも提供予定

<初年度販売予想>

2002年9月～2003年3月 5億円 ( 7ヶ月間 )

2003年4月～2004年3月 13億円

2004年4月～2005年3月 25億円

<用語解説>

インターネットVPN (internet Virtual Private Network)

通信インフラとしてインターネットを利用しながら、仮想的に構築する独自ネットワーク。VPN では、データを暗号化してインターネットに送り出し、受信側でこれを復号化して通信することで、あたかも両者が専用線を使った LAN で接続されているように機能する。

xDSL (x Digital Subscriber Line)

電話局と加入者宅間に敷設されたツイストペアケーブルを用いて、高速デジタル通信を行うための技術。ADSL、RADSL、SDSL、HDSL、VDSL など、さまざまなバリエーションがあり、これらを総称して xDSL と呼ぶ。

FTTH (Fiber To The Home)

高速通信が可能な光ファイバを電話局から各家庭に引き込み、高速なインターネット・アクセス環境を構築する計画。

IPSec (IP Security)

暗号通信のための標準プロトコルとして、VPN で最も一般的に用いられているセキュリティ技術。フレーム構成、データの暗号化や受信パケットの改ざんチェックなど、暗号通信の基本部分が規定されている。

\* 記載されている会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。

\* 上記価格、出荷 ( サービス ) 開始時期については予告なく変更する場合があります。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせは下記までお願い致します>

株式会社ネットマークス 広報宣伝室 三谷一志

Tel : 03 - 3423 - 5782 Mail : mitani@netmarks.co.jp

## 株式会社ネットマークス 会社概要

社 名 株式会社ネットマークス  
所 在 地 〒107-0051 東京都港区元赤坂 1 - 3 - 1 2  
TEL / 03-3423-3291 (代表)  
[URL] <http://www.netmarks.co.jp/>  
設 立 1997年3月18日  
資 本 金 11.56億円  
出 資 会 社 住友電気工業株式会社、日本ベンチャーキャピタル株式会社  
株式会社野村総合研究所、住友電設株式会社、  
株式会社インターネットイニシアティブ、ティアイエス株式会社  
代 表 者 代表取締役社長：長尾 多一郎（ながお たいちろう）  
従 業 員 数 510名（2002年4月現在）

### <株式会社ネットマークス 事業概要>

ネットマークスは、メーカーにとらわれることなく時代に即したネットワーク構築というニーズの高まりを背景に、マルチベンダ環境でのネットワークシステムインテグレータとして1997年に設立されました。『We are here on customers' side.』をスローガンに掲げ、お客様の立場で考えた最適なソリューションと誠実できめの細かいサービスを提供することを目指しております。最新技術にも柔軟に対応するネットワークシステムの構築をベースに、重要な情報を確実に守るセキュリティシステム、データを安全に保管し最大限に有効活用するためのストレージネットワークシステム、また構築したシステムの運用・監視を行なうアウトソーシングサービスの4つのソリューションを基幹ビジネスと位置付け、これらを融合させ、設計、構築、運用・監視、保守にいたるまでトータルにお客様をサポートしております。